

ニッソウ (1444)

2018/7 通期は費用計上で減益も増収続く

フィリップ証券株式会社

TOKYO PRO Market | 住宅建設 | 会社紹介

BLOOMBERG 1444:JP | REUTERS 1444.T

- 同社は、不動産会社から請け負うリフォーム（原状回復、修理・クリーニング工事）の他、不動産物件のグレードアップを図るリノベーション工事を手掛ける。売上構成比はそれぞれ約 75%、約 25%。
- 強みは、都内近郊中心に国内 1,300 社超の継続的な取引先不動産会社を有している点で、一部業者への依存が小さい。また、国内 12 の施工ネットワークを将来 50 程度とすることを計画。全国に外注先施工ネットワークを有し、首都圏の各専門施工業者は 900 社超。
- 2017/7 通期は、売上高が前期比 44.2%増の 15.51 億円、経常利益が同 73.9%増の 8,527 万円。2018/7 通期会社計画は、売上高が同 8.4%増の 16.81 億円、経常利益は広告宣伝費、人件費や上場費用などが影響し同 9.1%減の 7,751 万円、当期利益は同 16.2%減の 5,054 万円。

What is the news?

同社は、不動産会社から請け負う主軸のリフォーム（原状回復、修理・クリーニング工事）の他、不動産物件のグレードアップを図るリノベーション工事を手掛けている。売上構成比はそれぞれ約 75%（原状回復約 70%、修理・クリーニング約 5%）、約 25%である。受注金額は、原状回復が 5-300 万円、ハウスクリーニングが 5 万円未満、リノベーションは 300 万円超。外注先ネットワークを活用し事業を展開している。

強みは、都内近郊中心に国内 1,300 社超の継続的な取引先である中小の不動産会社を有している点であり、一部業者への依存が小さい。また、国内 12 の施工ネットワークを将来 50 程度とすることを計画している。全国に外注先施工ネットワークを有し、首都圏の各専門施工業者は 900 社を超える。従業員の見識や迅速な対応、効率的作業のノウハウなど創業 30 年の実績と信頼などにより、利益を生み出す仕組みを確立してきた。同社の営業担当者自らが各種工事を行うケースもある。

2017/7 通期は、売上高が前期比 44.2%増の 15.51 億円、経常利益が同 73.9%増の 8,527 万円、当期利益が同 63.5%増の 6,033 万円となった。積極的な販売促進及び広告宣伝などにより取扱物件数が増加し、売上高が拡大。株式上場に向けた社内管理体制強化、積極的な営業社員採用などの費用増加を吸収した。

How do we view this?

2018/7 通期会社計画は、売上高が同 8.4%増の 16.81 億円、経常利益は広告宣伝費、人件費や上場費用などが影響し同 9.1%減の 7,751 万円、当期利益は同 16.2%減の 5,054 万円。同社によれば、年間約 4,000 億円の不動産リフォーム市場の中で、同社取引先の不動産会社は年々増加している。従業員の新規採用に注力し、国内拠点の拡充に加え、将来は香港、台湾、シンガポールの他、上海への進出の可能性も探っている。

業績推移

事業年度	2015/7	2016/7	2017/7	2018/7予
売上高(千円)	889,776	1,075,599	1,551,317	1,681,144
経常損益(千円)	40,263	49,032	85,276	77,518
当期純損益(千円)	29,417	36,908	60,338	50,541
EPS(円)	73.54	92.27	150.84	126.35
PER(倍)	28.56	22.76	13.92	16.62
BPS(円)	679.55	771.82	922.67	-
PBR(倍)	3.09	2.72	2.28	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(※)2017/12/9に1:1000の株式分割を実施 (出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 2,100 2018/2/26(基準値)

会社概要

1987年、前田代表取締役社長が目黒区にて内装事業を個人事業として創業。1988年に資本金300万円で株式会社ニッソウを設立した。会社名は「日本一の業績を誇る内装会社」を目指していることに由来している。1990年に本社を世田谷区桜、2006年には世田谷区経堂に移転。増資により、現在の資本金は1億円である。

戸建て住宅、ビル、アパートなど不動産会社から大手が参入しづらいニッチな市場のリフォームを請け負い、リノベーション工事も手掛ける。強みは1,300社を超える継続的な取引先不動産業者を有していることである。また、国内12の施工ネットワークを将来、50箇所程度とすることを計画している。首都圏の各専門施工業者のネットワークは900社超である。2018/2に東京証券取引所TOKYO PRO Marketに株式を上場した。

企業データ

主要株主(2018/1/18) (%)
1.前田 浩 86.50
2.前田 供子 13.50
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL:<http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。